令和６年６月21日
北九州市小倉南区役所

報道機関　各位

区制「50周年」記念ロゴをデザインした

小倉南区制50周年記念「巨大画板灯篭」の寄贈！！
～小倉南区役所･まつりみなみ･子どもまつりで展示～

小倉南区は、今年(令和６年)区制50周年を迎えました。

この節目の年に、小倉南区のもつ魅力を再(彩)発見･新(深)発見し、区内外に広く発信することで魅力をさらに高めていき、地域の絆をより一層深め、小倉南区に誇りや愛着をもっていただく新たな機会となるよう、１年間にわたり様々な取り組みを行います。

その一環として、小倉南区で放置竹林や竹林被害のある竹を使って竹灯籠や竹チップ制作、イベントでのワークショップなどの活動を通じて竹の問題と魅力を発信している｢竹林製作所｣が制作した小倉南区制50周年の記念ロゴをデザインした画板灯篭を小倉南区に寄贈していただくこととなりました。

この画板灯篭の寄贈式を下記のとおり実施いたします。

つきましては、本事業の取材にご協力いただきますようお願いいたします。

1.　贈呈式日時　　令和６年６月25日(火) 14:00～
2.　場　所　　小倉南区役所３階区長室（北九州市小倉南区若園五丁目１番２号）
3.　出席者　　竹林製作所　小田聖人氏　西島秀康氏
　　小倉南区長　日々谷健司
4.　画板灯篭の仕様　　サイズ　180cm × 180cm　添付資料の写真参照
5.　画板灯篭の活用　　①　小倉南区役所内に展示
　　②　８月31日(土)開催　まつりみなみ2024in小倉駐屯地の会場で展示
　　③　９月28日(土)開催　第50回小倉南区子どもまつりステージに展示
　　④　11月30日(土)開催　小倉南区制50周年記念式典会場で展示
6.　添付資料　　画板灯篭政策の様子【写真】
　　竹林製作所の活動
7.　お問い合わせ　　小倉南区役所コミュニティ支援課生涯学習係　担当:梶山(係長)、増田(課長)
〒802-8510 北九州市小倉南区若園五丁目１番２号
電話 093-951-4115　FAX 093-951-5507

KOKURAMINAMIKU
50th
Anniversary
小倉南区

KOKURAMINAMIKU
50th
小倉南区

竹林製作所

Kitakyusyu

北九州の竹の歴史

官営八幡製鐵所

昔は鉄の元である鉄鉱石を運ぶ際は手作業で行っており、しょうけという道具を使っていました。
川内貯水池の周りに生えている孟宗竹は当時、道具を作るのに適した素材でした。
そのため、隣町の合馬の人々に声をかけ合馬に河内貯水池に生えている竹を移植し、生産したのが始まりです。
昭和３０年代は合馬の竹で作ったしょうけを牛にのせ八幡東七条にまで運び業者に引き渡していたそう。

図のしょうけは真竹で作っています。

合馬三岳地区の長老のお話

河内貯水地

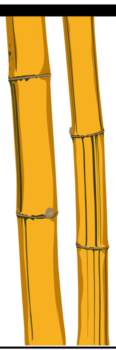
川内貯水池の周りに生えていた竹が質がよく道具作りに適していたので合馬地区のお百姓さんが八幡製鉄所に販売していました。
季節にかかわらず竹が生えているので１年中道具を生産することができました。

若松港石炭の積み出し

かつて五平太船に石炭を積みだして運んでいました。
その際、手作業のため、パイスケとしょうけを使用して石炭の積み出しを行っていました

竹林製作所

Kitakyusyu
竹の道具



飯かご

夏の暑い時期はごはんが蒸れて腐らないように、竹で編んだかごに濡れた布とごはんを入れ、涼しいところでごはんを保存していました。

振り分け荷物

江戸時代に用いられた旅行用の小型の鞄です。現代では時代劇などで舞台小道具として使用されています。

篤籠（かご）

長くて太く頑丈な棒に木や竹などで作った籠を吊り下げ、人を乗せて前後で棒を担いで運ぶ乗り物。
大名クラス用から一般町民クラス用まで種類がありました。

茶筅（ちゃせん）

抹茶を点てるのに使用する茶道具のひとつで、湯を加えた抹茶の中で混ぜるための道具。
竹製のものがほとんどですが流派により使用する竹の種類や色が異なります。

竹ぼうき

葉を落とした竹の小枝を束ねて適当な長さに切った竹の幹を柄としたほうき。
地面をはくのに用いります。

パイスケ

竹を編んで作った浅い鉢型の入れ物で小砂利などをのせ肩に担いで運搬する道具です。

竹林製作所

Kitakyusyu
未来の竹

竹チップ

竹を粉砕機に入れて竹を粉々にし、チップにします。チップにした竹を発酵させると飼料として使用することができます。
今までの飼料代が３割減になるのでこれから増えていく可能性があります。
竹チップを飼料にすることで肉質よくなる効果があります。
飼料のほかに土壌改良材としても使用できます。作物の根が張りやすく水をたっぷり吸い上げます。

ナノファイバー

自動車の軽量化を実現する新素材として注目を集めています。鉄に比べて軽く、強度も鉄より強く、植物由来のため二酸化炭素（ＣＯ２）の排出削減にもつながります。
現在、各メーカーが使用できないか模索中です。

竹林製作所

Kitakyusyu

竹製品の紹介

竹ぼうき

竹トング

竹のマグカップ

～画版灯籠～

画版灯篭は竹を自分たちで伐採した後、
竹を加工して画版をはめ込み堀り込んで
いきます。
画版の組み合わせによりどんな大きさで
も製作することが可能です。

竹林製作所

Kitakyusyu

募集

ワークショップの様子

お祭りや施設で大人から子供まで家族で楽しめるワークショップを定期的に開催しています！
自分だけの作品作りにみんな夢中です。

自分で作った竹鉄砲！

初めての竹ぽっくり！みんな上手に歩けてます＾＾

自分の好きな絵をデザイン

メンバー募集

竹を活かして竹で遊ぼう！
北九州を盛り上げてくれる方募集！
竹灯籠・ワークショップ作品作りなど
機械や道具を使って製作します。

・年齢、性別不問
・主な活動日
　火水土日
（行ける日にいつでも参加OK）

竹林製作所

連絡先
担当者：竹林製作所代表　小田（おだ）
mail：joseioda@gmail.com

協賛の募集

放置竹林や竹林被害のある竹を自分たちで伐採し、竹灯籠、竹チップ、ワークショップなど楽しみながら竹の問題と魅力を伝える活動をしています。
そこで、竹林製作所のイベント企画・運営をはじめとした活動、企業や団体の皆さまからの協賛金や物品、寄付等を広く募集します！
北九州を盛り上げたい！観光資源を増やしたい！竹害問題を減らしたい方々。

皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願い致します。